

# 2019(令和元)年度事業報告書

## 2019(令和元)年度事業報告

	事業名	事業内容
学 び の 場 の 提 供	人権ライブラリー (閲覧室運営)  (閲覧室整備) 347,108円	人権に関する図書・ビデオ・資料等を整備し、閲覧や貸出を行った。  整備状況：図書5,460冊、ビデオ521本、利用者数3,693人
	人権を考える公開講座	県民を対象としたセミナーやワークショップを開催した。 ○セミナー(12/14) 「みんな笑顔になるために～子供の可能性を信じて～」 講師：小西治子さん (NPO法人笑輝 理事長/元大阪体育大学健康福祉学部准教授) 場所：紀南文化会館 4階研修室1、2(49人参加・定員50人) ○ワークショップ(7/6) 「人づきあいてムズカシイ?!～「あなた」と「わたし」の違いにふれる、体験型講座～」 講師：岩橋由莉さん (表現教育家) 場所：和歌山市南コミュニティセンター 4階活動室大(33人参加・定員30人)
	人権・発見・体験教室  303,652円	『オリンピック・パラリンピックと人権』をテーマとした学習と『体操教室』を組み合わせたイベントを開催し、思いやりやチームワークの大切さといった人権感覚への理解を深めた。 ○「じんけんスポーツ塾」(8/3) 講師：社会医療法人スミヤ 理学療法士(3人) 場所：武道・体育センター 和歌山ビッグウエーブ 2階サブアリーナ(45人参加(子供24人、保護者21人)・定員20人)
	インターネット上の人権侵害対策	インターネット上における人権侵害防止のため、人権とインターネットモラルに関する県民への啓発としてシンポジウムの開催や啓発資料の作成及び講座を開催した。 ○シンポジウム(2020年2/7) 「インターネットと人権」 1部：基調講演 講師 佐藤佳弘さん (株)情報文化総合研究所代表取締役 武蔵野大学名誉教授 2部：パネルディスカッション コーディネーター 佐藤佳弘さん パネリスト 豊田充崇さん 和歌山大学教授 竹内和雄さん 兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会代表 兵庫県立大学准教授 山岡大さん あさかぜ法律事務所代表(弁護士) 場所：和歌山県民文化会館小ホール(270人参加・定員300人) ○講座(12/11、2020年2/17、3/6) 「インターネットと人権」 講師：兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会 KDDI株式会社 場所：12/11和歌山市中央コミュニティセンター 活動室1 (26人参加・定員30人) 2/17伊都振興局 中会議室(25人参加・定員30人) 3/6 西牟婁振興局 大会議室(13人参加・定員30人)

	2,452,020円	○啓発資料作成 「インターネットと人権～人権侵害を防ぐために～」 受講者用5,000部 指導者用1,000部
人権感覚を育てよう	469,315円	幼児向け啓発プログラム『みんな、たいせつ』（平成22年度開発）の講師養成のほか、幼稚園・保育所等でのプログラム実践啓発手法周知の出張講座を開催した。 ○講師養成セミナー（2回） ① 6/12 伊都振興局（13人参加・定員30人） ② 6/13 有田振興局（18人参加・定員30人） ○「みんな、たいせつ」プログラム出張講座 対象3～5歳児、保護者、保育者（延べ484人参加） ① 9/27 御坊市 御坊はこぶね幼稚園 ② 10/24 海南市 海南市立みらい子ども園 ③ 10/25 高野町 高野山こども園 ④ 10/31 有田川町 清水保育所 ⑤ 11/1 橋本市（社福）寿翔永会橋本さつき保育園 ⑥ 11/15 みなべ町 南部保育所 ⑦ 11/19 和歌山市 和歌山市立雑賀崎幼稚園 ⑧ 11/25 和歌山市 しろがね保育園 ⑨ 12/4 橋本市 学文路さつきこども園 ⑩ 1/29 みなべ町 上南部こども園
協定企業人権研修（講師派遣）	355,738円	「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」締結団体から、県の人権研修講師派遣依頼に基づき、センター登録講師等を派遣した。（33回派遣、対象1,956人）
人権啓発支援事業	355,489円	中小企業の経営者及び研修担当者を対象に、誰もが働きやすい職場づくりを支援するための講座を開催した。 ○「発達凸凹、発達障害とは～いろいろな特性を持った人たちの能力を活かす～」(9/18) 講師：広野ゆいさん (NPO法人DDAC(発達障害をもつ大人の会)理事長) 場所：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 12階1201会議室(75人参加・定員60人)
講師派遣	—	市町村・企業・団体からの要望を受けて、センター職員を人権研修等の講師として派遣した。（17回派遣、対象648人）
計	4,283,322円	
考えるきっかけと素	啓発ポスター・人権の詩募集	○人権に関するポスターを募集、優秀作品を人権フェスタにおいて表彰し、展示した。最優秀作品(小・中・高校各1点)を「人権を考える強調月間、同和運動推進月間」用啓発ポスターとして作製し、活用した。（応募総数4,732点） ○日常生活の身近な人権をテーマに「人権の詩(こころのうた)」を募集、優秀作品を人権フェスタにおいて表彰し、展示した。（応募総数2,598点）
	啓発ポスター・人権の詩入選作品集作成	○啓発ポスターと人権の詩入選作品をあわせて作品集として作成した。 ※印刷(2,000部)
	人権ギャラリー(研修室運営)	NPO団体等への人権に関する作品展示スペース及び研修室として貸出を行うとともに、市町村・企業等にパネル貸出を行った。 ○障がい者市民の夏祭り作品展(8/9～8/21、来場者43人) ○人権企画展「人権の詩(こころのうた)知事賞作品 パネル&シアター」(8/26～9/10、来場者70人)
	ふれあい人権フェスタ2019	NPOをはじめ各種人権関係団体等と協働し、楽しい雰囲気の中で人権を考え多様な体験が出来るフェステバルを開催した。

材の提供		「りいぶるフェスタ」、「わかやまこころのフェスタ」と同時開催し、効果的な啓発を実施した。 ○11/23(和歌山ビッグホエール) 出展数:157団体、来場者数:7,000人 内容:ブース展示、パネル展示、ステージイベント、人権啓発資料展、ワークショップ、模擬店、各種体験コーナー
	7,684,603円	
	人権を考える強調月間・同和運動推進月間	「同和運動推進月間」(11/1~11/30)及び「人権を考える強調月間」(11/11~12/10)に集中的な啓発活動を展開した。 ○街頭啓発(11/1)JR和歌山駅前 ○人権啓発ポスター作成(2,000枚)・配布等 ○同和運動推進月間特別講演会(11/14) 「これからの人権教育・啓発の課題-部落問題をどう語り、伝えるのか-」 講師:石元清英さん(関西大学名誉教授) 場所:県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 1階大ホール(192人参加・定員250人)
340,327円		
啓発資料の作成	啓発冊子や資料等を作成し、企業等の人権研修会等に活用いただいた。 ○「世界はカラフルー性の多様性と人権ー」 ※印刷10,000部 ○「みんなでつながるーインターネットと人権ー」 ※増刷 3,000部 ○「『違い』を生きる。『違い』と生きる。-多文化共生と人権-」 ※増刷 3,000部	
1,046,997円		
計	9,799,013円	
情報の収集と提供	センター自主事業(情報誌等作成)	人権関連活動の取材記事等を掲載したセンターだより『E.L.F.(エルフ)』を作成した。 ○『E.L.F.』4回(各5,000部)、A4/12頁、全頁ルビ・音声コード付き
	1,525,249円	
	ホームページ運営	人権に関する情報提供やセンター事業広報のため、ホームページを運営し、さまざまな情報をインターネットを通じて発信を行った。
344,640円		
講師バンク	センター設置の人権課題ごとに登録された講師バンクへの登録講師の充実を図り、市町村や事業所、各種団体等の要望により人権研修等の講師を紹介した。 (登録講師数:53人、紹介回数46回、対象4,100人)	
—		
計	1,869,889円	
人権相談	人権相談	「人権ホットライン」による電話相談や来所による面接相談に対し、問題解決の視点から助言等を行った。 また、弁護士による法律相談を実施した。 ○電話相談 74件 面接相談 17件 メール・FAX等 0件 ○法律相談 17件 計 108件
	3,164,000円	
センター運営(事業費)	7,736,252円	センター維持管理経費として、以下の経費を支払った。 事務室使用料、共益費、光熱費、公用車管理費、理事会・評議員会開催経費等
センター運営(人件費)	45,029,137円	センター運営に要する人件費
合計	71,881,613円	

※補足すべき重要な事項は無いので、「事業報告の附属明細書」は作成していません。